

2019年4月1日から2019年9月30日まで



Logistics, Progress, Borderless.

YASUDA

## ■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、第152期の中間報告書（2019年4月1日から2019年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

創立100周年の節目を迎える当社グループでは、次の100年の成長に向けた事業体制の構築と更なる成長を目指し、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」を策定し、長期ビジョンを実現するための計画として2019年度から2021年度までの3年間を対象期間とする中期経営計画「YASUDA Next 100」を本年4月より推進しております。

当期の中間配当につきましては、1株につき8.5円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

藤井 信行

2019年12月

## 「長期ビジョン2030」～次の100年に向けて～

世界に誇れるYASUDAブランドと革新的テクノロジーの融合で  
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す。

## 中期経営計画「YASUDA Next 100」基本方針

お客様ニーズに多彩なソリューションと最先端テクノロジーで応え、  
お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーへと成長する。

## ■ 事業の概況（連結）

当中間期における当社グループの業績は、物流事業が減収であった一方、不動産事業が増収となったことにより、営業収益は前年同期比342百万円増（1.5%増）の23,289百万円となりました。一方で、物流事業における倉庫施設の拡張や新設による保管料の増加が寄与し、営業利益は前年同期比256百万円増（16.2%増）の1,840百万円、経常利益は前年同期比286百万円増（14.5%増）の2,261百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比246百万円増（19.2%増）の1,531百万円となりました。

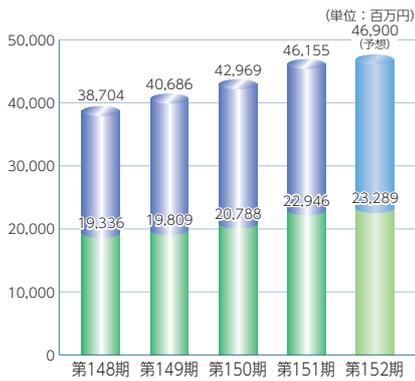
セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、倉庫施設の拡張や新設により保管料は増加したものの、海上及び航空輸送における大型案件の減少などにより国際貨物取扱料が減少し、営業収益は前年同期比137百万円減（0.7%減）の19,585百万円となりました。一方で、施設の稼働率向上及び業務の合理化などにより、セグメント利益は前年同期比229百万円増（16.0%増）の1,660百万円となりました。

不動産事業では、既存施設にて高い稼働率を維持したことに加え、大規模な施工工事等の受託もあり、営業収益は前年同期比373百万円増（10.3%増）の3,989百万円、セグメント利益は前年同期比121百万円増（11.7%増）の1,164百万円となりました。

# ハイライト情報 (連結)

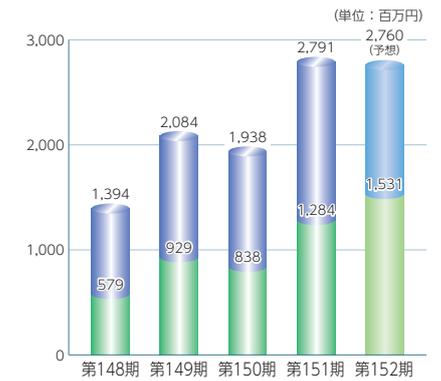
## ● 営業収益



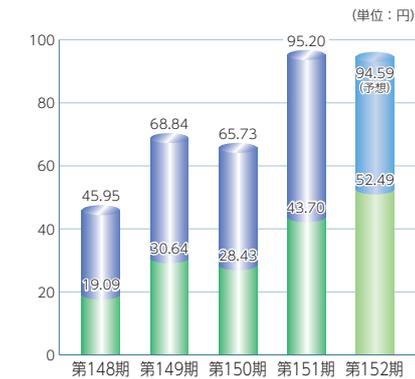
## ● 経常利益



## ● 親会社株主に帰属する純利益



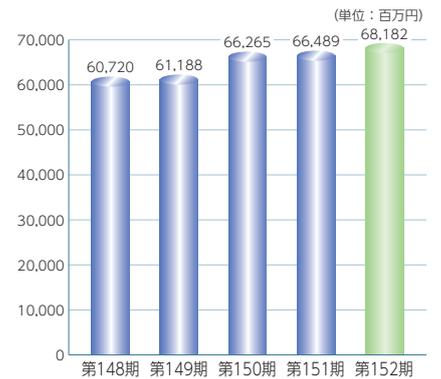
## ● 1株当たり純利益



## ● 総資産



## ● 純資産



(注) 上記に記載した予想数値は、2019年11月6日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	12,165	16,046
固定資産	106,781	105,374
有形固定資産	58,568	58,332
無形固定資産	2,714	2,712
投資その他の資産	45,499	44,329
<b>資産合計</b>	<b>118,947</b>	<b>121,420</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	13,465	16,124
固定負債	37,299	38,807
<b>負債合計</b>	<b>50,765</b>	<b>54,931</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	40,151	38,970
その他の包括利益累計額	27,795	27,275
非支配株主持分	235	243
<b>純資産合計</b>	<b>68,182</b>	<b>66,489</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>118,947</b>	<b>121,420</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 (累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
営業収益	23,289	22,946
営業総利益	3,219	2,845
営業利益	1,840	1,583
経常利益	2,261	1,974
法人税等	671	580
四半期純利益	1,526	1,287
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,531	1,284

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 (累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,833	3,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,825	△1,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,207	△627
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,234	1,356
現金及び現金同等物の期首残高	7,786	4,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,551	6,232

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細は、当社ホームページの「IRライブラリー」をご覧ください。

安田倉庫 IR

検索

## ■ 業績の見通し (連結)

当中間期の当社グループの業績は、営業収益は概ね予定どおりに推移しております。倉庫施設の拡張・新設に加え、施設の稼働率向上による保管料収益の増加や業務の合理化が進んだことにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益について公表予想を上回る結果となりました。

今後も依然として厳しい事業環境が続くことが予想されますが、当社グループは、物流事業においては、既存顧客の取引拡大及び新規顧客の誘致に注力し、また、不動産事業においては、既存施設の稼働率の維持・向上に努め、収益の増加を図ります。

なお、当社グループの通期業績見通しについては、当中間期の実績及び今後の見通しを勘案して、ハイライト情報(前掲)のとおりとしております。2019年5月9日公表の内容は変更していません。

## ■ トピックス

### 1. 新物流施設を開設予定

メディカル物流サービスの更なる拡大に向け、2020年6月、東京都江東区東雲に新たな物流施設を開設いたします。

本施設は、りんかい線東雲駅より徒歩5分、首都高速道路湾岸線有明ICの至近にあり、東京湾岸地区・羽田空港へのアクセスに優れた、メディカル物流拠点として最適なエリアに位置しております。

<施設概要>

敷地面積：約10,900㎡(約3,300坪)

延床面積：約22,100㎡(約6,700坪)

地上4階建



### 2. 北陸地方2社の株式取得を決定

倉庫・輸配送ネットワークの全国展開を推進すべく、石川県金沢市の大西運輸株式会社及びオオニシ機工株式会社の全株式の取得を決定いたしました。

北陸3県を基盤とした大西運輸グループのネットワークとサービスノウハウを活かし、輸配送網の更なる拡大と品質向上に努めてまいります。



### 3. ITキittingサービスの拡大

本サービスのメニューとして、各展示会・国際会議・学会向けレンタル機器の貸し出しから回収までを一貫して行うキitting業務を実施しております。

近年ではIoTの活発化に伴うビジネスチャンスも増加し、宅配ロッカーやカード決済端末、鉄道車両向け監視カメラのキittingなど、業務範囲をますます拡大しております。



### 4. JR田町駅構内に広告を掲出

本年4月に発表したコーポレートスローガンをビジュアル化した看板を、本社の最寄り駅であるJR田町駅構内に掲出いたしました。

創立100周年を迎えることとともに、当社グループをより多くの方に知っていただきたく、本デザインを基にした広告や販促物等を展開してまいります。



## ■ 会社の概況 (2019年9月30日現在)

- 商号 安田倉庫株式会社  
Yasuda Logistics Corporation
- 本店 東京都港区海岸三丁目3番8号
- 創立 1919年12月20日 (大正8年)
- 資本金 36億210万円

### ■ 当社グループの主要な事業内容

#### 物流事業

倉庫業、貨物利用運送事業、貨物運送事業、通関業、港湾運送事業

#### 不動産事業

不動産業 (ビル、土地、駐車場等の開発、賃貸借、売買、仲介、管理)

### ■ 当社グループの従業員の状況

連結従業員数 1,128名 (内、安田倉庫従業員数 416名)

### ■ 当社の取締役及び監査役

取締役会長 (代表取締役)	藤田 久行	取締役	細井 昌彦
取締役社長 (代表取締役)	藤井 信行	取締役	青木 健太
常務取締役	小泉 眞吾	取締役	佐藤 陽一
常務取締役	佐藤 一成	取締役	久保 信保
常務取締役	鷲谷 輝雄	取締役	井福 正博
常務取締役	小川 一成	常勤監査役	永野 明宏
取締役	武藤 博幸	常勤監査役	改田 昌三
取締役	松井 正	監査役	米田 彰
取締役	鶴飼 巖	監査役	藤本 聡

(注) 1. 取締役久保 信保、井福 正博各氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役米田 彰、藤本 聡各氏は、社外監査役であります。

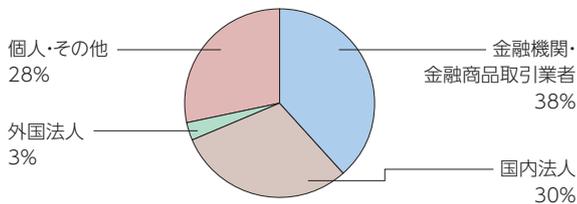
## ■ 株式の状況 (2019年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 1億1,850万株

■ 発行済株式の総数 3,036万株

■ 株主数 8,771名

### ■ 所有者別株式数



### ■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,045	7.00
明治安田生命保険相互会社	1,604	5.49
東京建物株式会社	1,603	5.49
株式会社みずほ銀行	1,253	4.29
大成建設株式会社	1,252	4.29
東京海上日動火災保険株式会社	1,122	3.84
安田不動産株式会社	1,020	3.49
株式会社中央倉庫	982	3.36
ヒューリック株式会社	963	3.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	843	2.89

(注) 1. 当社は、自己株式を1,182,686株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■ 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 同総会基準日 3月31日  
その他、必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
- 配当金基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱い場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ  
<http://www.yasuda-soko.co.jp/ir/tabid/136/Default.aspx>に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### ■ お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続きお取扱い店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続きお取扱い店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

## ■ ホームページのご案内

当社のHPでは、会社情報、IR情報等様々な最新情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.yasuda-soko.co.jp/>

安田倉庫

検索



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

